

おだがいさま

odagaisama

第90号
令和2年
10月1日発行

ツリーハウスに登って遊ぼう～



◆ことりハウス 低学年向け。高さ2mに柵付きのデッキを設け、はしだけでなくロープやボルダリング用グリップを使って登ることができます。

ひろっぴあのツリーハウスをご紹介します！

鶴岡市中央児童館「ひろっぴあ」の児童遊園内に、昨年2つのツリーハウスが設置され子どもたちに大人気の遊び場となっています。このツリーハウスは、東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科の学生の皆さんが、構想から1年、着工から約3カ月かけて製作したものです。

製作のきっかけは、同大学の学生がひろっぴあに併設されている学童保育所に通っていたことにあります。当時、児童遊園にあった木製アスレチックで楽しく遊んだ思い出があり、「同じように木のぬくもりがあるツリーハウスがあったら」と考え、管理運営している社会福祉協議会に相談したことから製作が始まりました。完成したツリーハウスは、ニックネームを募集し、それぞれ「ことりハウス」「木もれびハウス」と名付けられました。

取材当日は、同館を利用している子どもたちが「ロープで順番に登ろう！」と慣れた様子でツリーハウスに登り、木もれびの中、元気いっぱい遊んでいました。



◆木もれびハウス 高学年向け。高さ3mに屋根を掛けたやぐら風の外観で、城下町鶴岡にちなみ、お城をモチーフに製作されました。高所のはしごには安全面に配慮し落下防止のネットが張られ、また、安全に使用してもらうためのルールが掲示されています。

次期「鶴岡市地域福祉活動計画」の策定を進めています



平成27年度年に策定した
現在の地域福祉活動計画
(平成28年度～令和2年度)

平成27年度に策定した鶴岡市地域福祉活動計画『おだがいさまのまちづくり計画2015』が、今年度で計画期間5年を終了します。
現在、令和3年度からの新たな計画（5年間）を策定しています。

地域福祉を進める計画

鶴岡市社会福祉協議会では『おだがいさまのまちづくり』の理念のもと、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画である『鶴岡市地域福祉活動計画』を実行しています。

同計画は、市の『鶴岡市地域福祉計画』と一体的に策定しているもので、市と市社協が連携・協働し、目指す方向性を共有してつくりあげています。

新たな計画づくりがスタート

7月31日に市と市社協合同による第1回策定委員会を開催しました。自治組織・社会福祉・その他専門分野の方々に策定委員として出席いただき、

近年増加する生活課題、地域課題

- ・80代の親が50代のひきこもりの子を支える『8050問題』
 - ・育児と介護の『ダブルケア』
 - ・様々な背景がある『社会的孤立』
- これらに加え、頻発する自然災害や新型コロナウイルスの影響も

【アンケート】
住民自治組織
民生委員・児童委員
福祉専門職

【訪問による
聴き取り調査】

【ヒアリング】
福祉の専門機関

策定委員会

次の5年間の新たな計画
住民主体の地域福祉

調査・策定のイメージ図

課題調査の実施

今回の計画では、地域の実情やニーズを把握するため、多方面にわたる調

各分野の視点から多様な意見を出し合い、計画づくりに向けた話し合いを行いました。
また、特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長で、鶴岡市福祉アドバイザーを務める大橋謙策先生にオンラインで会議にご参加いただき、今後の地域福祉を進める上での貴重なアドバイスを多数いただき計画策定のスタートを切りました。策定委員会は全四回の開催を予定しています。

ウェブアンケートも実施予定

10月には市社協ホームページでウェブアンケートも実施予定ですので、皆様のご意見を是非お寄せください。（URLは本紙4ページ末尾に記載）

地域の皆さんの声を聞きながら、地域の皆さんと一緒に考えて『地域福祉活動計画』をつくりあげていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



7/31の第1回策定委員会ではウェブ会議を取り入れました



共同募金にご協力をお願いします

赤い羽根募金・歳末たすけあい募金



民生児童委員さんによる街頭募金

●運動期間

10月1日～12月31日

●戸別募金お願い額

500円

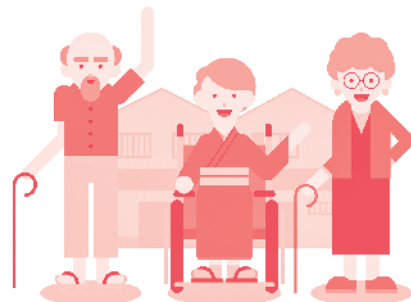
赤い羽根と歳末助け合いを合わせた
一世帯あたりの目安額です。
ご理解とご協力をよろしくお願いします。

子育て支援活動

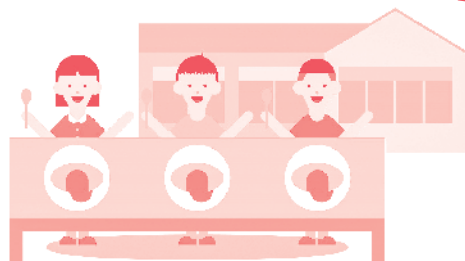


お寄せいただいた募金は、
誰もが地域で安心して
暮らすことができるよう、
地域のさまざまな取組に
役立てられています。

居場所づくり

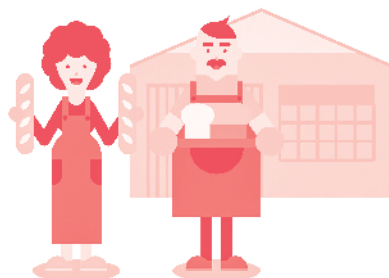


子ども食堂



募金

障がい者の就労支援



ボランティア活動



地域・在宅福祉事業配分のご案内

- 対象 NPO法人、民間組織団体、ボランティア団体等
- 対象事業 令和3年度に行う事業で、先駆的な社会福祉活動及び活動の立ち上げ等への支援
- 配分額 上限30万円（総事業費の4分の3の額）
- お申込み 令和2年10月30日（金）まで
- お問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎24-0053

地域のために私たちができること

～櫛引中学校の取り組み～

櫛引地域ただ一つの中学校が櫛引中学校です。「地域のために中学生ができること」を常に考え、いろいろな活動を展開しています。その一つが高齢者、園児に手づくりマスクを贈ることでした。中学生自身もこれまでと違う学校生活を余儀なくされているなか、1年生から3年生まで一つひとつ丁寧にマスクを着けてくれる方へ思いを込めて作成してくれました。

7月31日の贈呈式では生徒会長 鈴木滉平さんはじめ5名の生徒さんから大人用115枚、子供用140枚、計255枚のマスクが贈られました。マスクは櫛引地域のデイサービスセンターや保育園に届けられ、すべてのマスクにメッセージを添えて「コロナに負けない絆」を伝えてくれました。



「コロナに負けない絆」
メッセージを添えて



くしびきデイサービス利用者の方へ
マスクが贈られました。

情報掲示板

「ふれあい福祉相談」のご案内

●常設相談（職員対応）

失業や病気などにより一時的に生活の維持が困難となった世帯に対する貸付相談や、判断能力に不安がある方への日常的な金銭管理（福祉サービス利用援助事業）等の相談に職員が応じています。

日 時：月～金曜日（祝日を除く）

8：30～17：15

場 所：各福祉センター

（問合せ先ページ下段に記載）

●巡回弁護士相談（下半期10月～3月）無料・要予約

10月7日（水）10：00～15：00 櫛引福祉センター

10月21日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター

11月18日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター

12月16日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター

1月20日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター

2月17日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター

3月17日（水）10：00～15：00 鶴岡福祉センター

※相談は予約制となり、各日程の1ヶ月前から予約を受付けます。

※相談時間はお一人30分、料金は無料です。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます

（令和2年6月27日から令和2年8月31日までのご寄附を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

（新型コロナウイルス感染症対策へ）

・明治安田生命保険相互会社 山形支社 様
415,300円

◎鶴岡福祉センターへ

・匿名 80,000円

◎藤島福祉センターへ

・堀口 勤 様 3,679円

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・匿名 カーポート柱修繕部材

★くしびきデイサービスセンターへ

・鶴岡市立櫛引中学校 様 手作りマスク 115枚

★櫛引地域の保育園へ

・鶴岡市立櫛引中学校 様 手作りマスク 140枚

★鶴岡市ボランティアセンターへ

（令和2年大雨災害の被災地支援活動へ）

・特定非営利活動法人

鶴岡災害ボランティアネットワーク 様

61,487円

★鶴岡市高齢者福祉センターおおやまへ

・伊藤 利喜 様 100,000円

・菅原 松代 様 車椅子3台

★居宅介護支援センターおおやまへ

・上林 稔 様 Tシャツ140枚、パーカー20着

タオル30枚、雑貨類78点

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

・温海地域婦人会 様

タオル150枚、古シーツ・古布50枚

★もみじが丘へ

・あつみ温泉女性会 様 タオル30枚

・温海地域婦人会 様

タオル150枚、古シーツ・古布50枚

★学童保育所・放課後児童クラブへ

・第一生命保険㈱ 新鶴岡営業オフィス 様

メロン60個

★鶴岡市障害者相談支援センターへ

（手話奉仕員養成講座へ）

・村井 美樹子 様 フェイスシールド18個

おだがいさま

第90号

令和2年10月1日発行

発行部数 48,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号（にこふる2階）

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。